Ⅰ． 個　 人　 調　 書

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 履　　　　　　　　歴　　　　　　　　書 | | | | | | 写真添付  （1年以内） |
| ﾌ　 ﾘ　 ｶﾞ ﾅ  氏　　　　　名 | |  | 生年月日  （年齢） | 西暦　　　年　　月　　日（満　　才） | |  |
| 国　　籍 | |  | e-mail | |  |
| 現　　住　　所 | |  | | | |
| 学　　　　　　　　　　　歴 | | | | | | |
| 年　　　月 | 事　　　　　　　　　　　　項 | | | | | |
| 1977年　3月  1977年　4月  1979年　3月  1987年　3月 | 【記入例】大学卒業から記入すること。  　金沢大学○○学部○○学科卒業  　金沢大学大学院○○研究科○○専攻修士課程入学  　金沢大学大学院○○研究科○○専攻修士課程修了  （学位、論文名）  博士（工学）・○○大学、○○○○に関する研究 | | | | | |
| 職　　　　　　　　　　 歴 | | | | | | |
| 年　　　月 | | 事　　　　　　　　　　　　項 | | | | |
| 1979年 4月  1981年 4月  1987年11月  2010年10月 | | 【記入例】  　○○株式会社入社  　金沢大学○○学部助手  　金沢大学○○学部講師  　金沢大学○○研究域准教授（現在に至る） | | | | |
| 学会及び社会における活動等 | | | | | | |
| 年　　　月 | 事　　　　　　　　　　　　項 | | | | | |
|  |  | | | | | |
| 資　　格 ・ 免　　許 | | | | | | |
|  |  | | | | | |
| 賞　　　　　　　 　　　罰 | | | | | | |
| 年　　　月 | 事　　　　　　　　　　　　項 | | | | | |
| 1989年 6月 | 【記入例】  ○○学会論文奨励賞受賞 | | | | | |
| 上記のとおり相違ありません。  　西暦　　　　年　　月　　日  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　　名  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（自署） | | | | | | |

**注意事項（共通）**

**・西暦により記載すること。**

**・リストで記載する場合には、新しいもの（最近のもの）から順に記載すること。**

**・番号を振る場合には、古いものから昇順に番号を振ること。**

Ⅱ．研　究　業　績

１．研究論文（学術雑誌掲載のもの）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 題　　　　　　　目 | 掲載誌　巻・号・頁 | 発表年月 | 著者名 | IF  （被引  用回  数） |
|  |  |  |  |  |  |
| 4  \* | Video imaging of walking  myosin V by high speed atomic force  【表の１セルに１件記載する。  セルとセルの間は空白行を入れる】 | Nature, 468, pp.72-76 | 2010.11 | Kanazawa T.  Ishikawa J.\* | 38.1  (50) |
| 3 | プレス加工によるアルミ缶蓋の成形過程最適化に関する研  究  【表の１セルに１件記載する。  セルとセルの間は空白行を入れる】 | 日本機械学会論文集  (C編), 76-771, pp.88-99 | 2009.8 | 金沢太郎  機械二郎 | 4.1  (20) |
| 2 |  | ・ＩＦ値については、個人調書提出日を基準日として記載する。  ・被引用回数の集計は、SCOPUSによることを推奨。 |  |  |  |
| 1 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

（注） ※　著者名は，本人を含めて発表時の順で記入し，本人にはアンダーラインを付けること。

※　責任著者に＊（ｱｽﾀﾘｽｸ）を付けること。

※　英文論文と和文論文で内容を同一とするものは，翻訳論文の番号に同一番号で　’(ﾌﾟﾗｲﾑ)を付けること。

※ SCI-Expanded(Science Citation Index Expanded)の登録論文誌に掲載されている場合は，番号欄（番号の下）に

＊（ｱｽﾀﾘｽｸ）を付けること。

※　ピアレビューアーへ送付した論文番号にはアンダーライン（二重下線）を付けること。（昇任審査の場合に限る。）

２．研究論文（国際会議のプロシーディング）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 発　表　論　文　題　目  （国際会議名､開催地等） | 掲載誌　巻・号・頁 | 発表年月 | 著者名 | 査読の有無 |
|  |  |  |  |  |  |
| 3 | Optimum Design of Dies and Forming Process for Aluminum Beverage Can Ends  (WCSMO-8, Lisbon, Portogal)  【表の１セルに１件記載する。  セルとセルの間は空白行を入れる】 | Proceedings of 8th World Congress on Structural and Multi- disciplinary …. | 2009.6 | Kanazawa T.  Ishikawa J. \* | 有 |
| 2 |  |  |  |  |  |
| 1 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

（注） ※　必要性のある場合には講演を加えてよい。

※　責任著者に＊（ｱｽﾀﾘｽｸ）を付けること。

※　学会等の省略形は，欄外にフルネームを付記すること。

|  |
| --- |
|  |

３．国際会議等の基調講演・招待講演

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 演　　　　　　　　題  （国際会議名､開催地等） | 発表年月 | 著者名・発表者名  (発表者名に＊印) |
|  |  |  |  |
| 3 | Discrete observation of functioning myosin V and VI by high speed atomic force microscopy  (XIII Linz Winter Workshop, Linz, Autria)  【表の１セルに１件記載する。  セルとセルの間は空白行を入れる】 | 2010.2 | Kanazawa T.,  Ishikawa J.\* |
| 2 |  |  |  |
| 1 |  |  |  |
|  |  |  |  |

（注） ※　研究論文（国際会議のプロシーディング）との重複可。

４．著書，編書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 書　　　　　　　　　名 | 発　行　所 | 発行年月 | 著者名 |
| 3 | 最適設計ハンドブック－基  礎・戦略・応用－  【表の１セルに１件記載する。  セルとセルの間は空白行を入れる】 | 朝倉書店，(基礎編3.2節，  応用編3.5節分担) | 2010.4 | 金沢　太郎  他○名 |
| 2 |  |  |  |  |
| 1 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

（注） ※　分担がはっきりしている場合には，その箇所を記すこと。

※　共著者が多い場合には，○○○○他○名と記入してよい。

５．報告書，解説，資料，展望，総説など

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 種 別 | 題　　　　　　　　　目 | 掲載誌　巻・号・頁 | 発表年月 | 著者名 |
|  |  |  |  |  |  |
| 3 |  | 【表の１セルに１件記載する。セルとセルの間は空白行を入れる】 |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |
| 1 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

（注） ※　科学研究費や受託研究の成果報告書については，補助金の種類と交付期間を記入すること。

６．特許等

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 発明の名称 | 種別 | 出願番号 | 登録番号 | 氏　名 |
|  |  |  |  |  |  |
| 3 | 【表の１セルに１件記載する。セルとセルの間は空白行を入れる】 |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |
| 1 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

（注） ※　未登録の特許の場合，「登録番号」欄は無記入とする。

※　特許以外は，任意の記載とする。

７．特記すべき研究成果

|  |
| --- |
|  |

Ⅲ．研究活動・教育活動・学会及び社会的活動について

|  |  |
| --- | --- |
|  | 個人調書の履歴書等や研究業績では表しきれない標記の諸活動について，最近  　　の活動状況を重点にお書きください。下記の項目は目安として掲げたものですの  　　で，該当事項のない項目については省いて構いません。これ以外にも適当な項目  　　があれば追加してお書きください。 |

　１．研究活動について

（１）研究業績数

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 種別 | 期間全体  （編） | 左のうち  筆頭著者  論文数  （編）\* | ●●年度以後  （＝５年以内）  （編） | 左のうち  筆頭著者  論文数  （編）\* |
| １．研究論文数  （SCI-EXPANDED 掲載誌登載のもの） |  |  |  |  |
| ２．研究論文数  （SCI-EXPANDED 掲載誌以外） |  |  |  |  |
| ３．研究論文数  （国際会議プロシーディングス） |  |  |  |  |
| ４．著書，編書の数 |  | － |  | － |
| ５．報告書，解説，資料，展望，総説などの数 |  |  |  |  |
| ６．特許等の数 |  | － |  | － |

\*責任著者を含める

（２）最近の研究活動状況

　　　　最近の研究業績を基に研究の状況を説明してください。また，今後どのように進める予定かも付記してください。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（６００～８００字程度）

２．教育活動について

（１）大学等教育研究機関での教育経験

①担当授業科目

　　　（注※　ⅰ～ⅷ　は，例です。また，ⅰ～ⅳ　は原則３年以内，ⅴ～ⅷは原則１０年以内で書いてください。）

　　　ⅰ　共通科目　（授業科目名，受講者数，年度）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 授業科目名 | 担当年度・  前後期 | 平均受講者数 | 対象学域・学類・科目分類・分担（担当コマ数）など |
| ・ | 年　期〜  　　年　期 |  |  |
|  |  |  |  |

　　　ⅱ　専門科目　（授業科目名，受講者数，年度）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 授業科目名 | 担当年度・  前後期 | 平均受講者数 | 対象学類・コース・学年・担当コマ数など |
| ・ | 年　期〜  　　年　期 |  |  |
|  |  |  |  |

ⅲ　博士前期科目　（授業科目名，受講者数，年度）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 授業科目名 | 担当年度・  前後期 | 平均受講者数 | 対象専攻・担当コマ数など |
| ・ | 年　期～  　　年　期 |  |  |
|  |  |  |  |

ⅳ　博士後期科目　（授業科目名，受講者数，年度）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 授業科目名 | 担当年度・  前後期 | 平均受講者数 | 対象専攻・担当コマ数など |
| ・ | 年　期〜  　　年　期 |  |  |
|  |  |  |  |

ⅴ　その他の授業　（開放講座，留学生プログラム等）

ⅵ　非常勤講師

ⅶ　大学外での社会人教育活動等

ⅷ　教材開発実績（資料，ホームページ等）

②　大学院における教育研究指導実績

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 課程等 | 区分 | 大学院における教育研究指導実績 （最近１０年間） | | | | | | | | | | |
| （年度） |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 累積数 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 主任指導学生 | 博士前期 | 学位取得者数 |  | 最近10年間，過去→現在の順に記載してください。 |  |  |  |  |  | 2  (1) | 3  (1) |  | 5  (2) |
| 指導学生数 |  |  |  |  |  |  | 2  (1) | 5  (2) | 5  (2) |  |  |
| 博士後期 | 学位取得者数 |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  | 1 |
| 指導学生数 |  |  |  |  |  |  | 1 | 1 | 1 |  |  |
| 博士号取得 学生氏名の  イニシャル |  | 0の場合は空欄としてください。 |  |  |  |  |  |  | AM |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 副指導学生 | 博士前期 | 学位取得者数 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 指導学生数 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 博士後期 | 学位取得者数 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 指導学生数 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

\*括弧内は留学生、内数（記載があるときは2段にしてください）

③　大学院生の学会発表による受賞歴

　　　　（学生氏名，発表講演会名，発表年月，受賞名等）

　　　　・

（２）教育に関する研究業績（再掲でも可）

　　　　（注　※　個人調書のⅡ．研究業績のリストの番号を書いてください。）

　　　①研究論文

　　　②解説・資料・報告書・著書

　　　③作品・教育ソフト

（３）企業での教育経験　（注　※　①～⑥は，例です。）

　　　①技術士（技術士法第３２条）等の資格取得

　　　②技術士等の養成指導

　　　③社員教育

　　　④社内での学位論文指導

　　　⑤特許取得の指導

　　　⑥インターンシップ教育への関わり

（４）教育の努力に対する自己評価

　　　　次の４つの質問を総合的に勘案し，あなた自身の努力を示す答えを回答区分欄から１つ

　　　選んで，その数字を回答欄に記入してください。（５段階で自己評価する。）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 質　　　　　問 | 回　　答　　区　　分 | | | | | 回答 |
| ①　シラバスを通して具体的な学習  　の達成目標と授業計画を受講学生  　に明示し，その計画に沿った授業  　を実施するよう毎回の授業の組立  　てを工夫しているか？ | １  全く  努力し  ていな  い。 | ２  あまり  努力し  ていな  い。 | ３  どちら  とも言  えな  い。 | ４  少なか  らず努  力して  いる。 | ５  非常に  努力し  てい  る。 |  |
| ②　学期開始前の準備，毎回の授業  　前の準備を時間をかけて行ってい  　るか？ | １  全く  努力し  ていな  い。 | ２  あまり  努力し  ていな  い。 | ３  どちら  とも言  えな  い。 | ４  少なか  らず努  力して  いる。 | ５  非常に  努力し  てい  る。 |  |
| ③　教育機器の効果的な利用など学  　生を引き付ける工夫をし，魅力あ  　る授業の実践に努力しているか？ | １  全く  努力し  ていな  い。 | ２  あまり  努力し  ていな  い。 | ３  どちら  とも言  えな  い。 | ４  少なか  らず努  力して  いる。 | ５  非常に  努力し  てい  る。 |  |
| ④　学生に予習・復習を履行させ，  　ミニ演習などを通じて理解度，達  　成度を確認しながら授業を進めて  　いるか？ | １  全く  努力し  ていな  い。 | ２  あまり  努力し  ていな  い。 | ３  どちら  とも言  えな  い。 | ４  少なか  らず努  力して  いる。 | ５  非常に  努力し  てい  る。 |  |

（５）その他，教育に関する改善活動状況

３．学会・社会活動（５年以内の状況）

（１）所属している国内学会（学会毎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 国内学会名 | 役職，委員，実行委員等 | 招待講演等（招待された状況） | 参加状況 |
|  |  |  |  |

（２）参加している国際学会（学会毎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 国際学会名 | 役職，委員，実行委員等 | 招待講演等（招待された状況） | 参加状況 |
|  |  |  |  |

（３）所属している地域学会・研究会

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学会・研究会名 | 会の目的 | 参加状況 |
|  |  |  |

（４）市・県・国などの委員会への参加状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 委員会名 | 主催者 | 委員長・委員等 | 期間 |
|  |  |  |  |

（５）その他の学会・社会活動

　　（国際会議・国内会議の主催・開催実績，学術雑誌の編集等ほか）

４．大学・学域等（学部・学科を含む。）の委員会委員（５年以内の状況）

Ⅳ．外部資金の獲得状況について（金額は間接経費を含む総額）

（１）科研費（年度，研究種目，研究課題名，代表・分担等）

　 　　　（注　※代表の場合は，交付額の総額（予定額を含む。）も記載すること。分担の場合は代表者を記載すること。）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究課題名 | 研究種目名 | 年　度 | 金額（千円） | 代表/分担の区分 |
| 3.　○○○○に関するメカニズム  2.　■■の制御  1.　△△の機構解明 | 基盤研究（C）  基盤研究(B)  （代表:○○大学・教授・□□）  若手研究(B) | 2018年4月  ～2021年3月  2015年4月  ～2017年3月  2012年4月  ～2014年3月 | 5,000  （総額6,000）  3,000  3,600  （総額3,600） | 代表  分担  代表 |

（２）政府出資金事業等（年度,事業名,出資機関名，代表・分担等）

　 　　　（注　※代表の場合は，交付額の総額（予定額を含む。）も記載すること。）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 出資機関名 | 年　度 | 金額（千円） | 代表/分担の区分 |
| 3.　 戦略的創造研究推進事業（CREST）○○○○の創出  （代表:○○大学・教授・□□）  2.  1. | JST | 2013年4月  ～2018年3月 | 80,000 | 分担 |

（３）国，地方，民間等との共同研究（年度，研究題目，機関名，代表・分担等）

　　　　　（注　※（１）に掲げたものを除く。代表の場合は，交付額の総額（予定額を含む。）も記載すること。）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究題目 | 機関名 | 年　度 | 金額（千円） | 代表/分担の区分 |
| 3.　○○に関する研究  2.  1. | ○×工業 | 2015年4月  ～2017年3月 | 2,000 | 代表 |

（４）受託研究（年度，研究題目，委託機関名，代表・分担等）

　　　　　（注　※（２），（３）に掲げたものを除く。代表の場合は，交付額の総額（予定額を含む。）も記載すること。）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究題目 | 委託機関名 | 年　度 | 金額（千円） | 代表/分担の区分 |
| 3.　○○に関する研究  2.  1. | ○×機構 | 2015年4月  ～2017年3月 | 2,000 | 代表 |

（５）企業・財団等の助成金（賞）（事業名又は賞名，企業・財団等名, 年度，代表･分担等）

　 　　　（注　※代表の場合は，交付額の総額（予定額を含む。）も記載すること。）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名又は賞名 | 企業・財団等名 | 年　度 | 金額（千円） | 代表/分担の区分 |
| 3.　自然科学研究助成  2.  1. | ○×財団 | 2015年4月  ～2016年3月 | 1,000 | 代表 |

（６）特許等による研究費（年度,研究費を受ける発明の名称等）

（７）寄附金（年度，件数）

　　　　　（注　※５）に掲げたものを除く。）

（８）その他

Ⅴ．教育・研究に対する抱負

|  |
| --- |
| あなたが金沢大学学術メディア創成センターに採用・昇任された場合，これまでの教育，研究，その他の経験を生かし，あるいは新境地を拓くことも含め，教育・研究に対する抱負をお書きください。（文字サイズ　１０ポイントで，１０００字程度，Ａ４判１ページ以内） |